

令和8年3月4日

足立区立第十二中学校
校長 千葉 千登勢 様

足立区立第十二中学校 開かれた学校づくり協議会
会長 井門 明 洋

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

重点的な取組項目事項1「学力向上アクションプラン」について、生徒の基礎学力の向上にはまだまだ課題がある。特に朝学習については、学年が進むにつれて、合格率が下がっている傾向があるように見られる。指導方法の改善やツールを活用し、基礎学力の定着に向けた取り組みを進めて欲しい。

重点的な取組項目事項2「豊かな心の育成と社会的自立心の確立」について、成果目標の達成基準には到達できなかったが、「十二中の生徒で良かった」「楽しく安心して学校生活を送っている」「学級での居心地が良い」と感じている生徒が多いという状況は喜ばしい。

重点的な取組事項3「教師の指導力向上と信頼される学校づくり」について、教師の指導力向上に向けた日々の取組みが生徒に伝わり、学校評価では高評価となっている。生徒が安心して学校生活を送れるよう、引き続き、教師が確固たる信念を持ち、切磋琢磨してもらいたい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

各種調査やテスト、アンケートの結果をみると、前年度から改善が図られた項目はあるものの、依然として基礎・基本の定着が最大の課題である。繰り返しの学習の徹底やA Iドリルを含めたI C Tのさらなる効果的な活用などにより、授業改善を図り、学力の向上につなげていただきたい。

様々な機会やツールを利用して学校や生徒の様子が発信されている点は評価したい。しかし、アンケートでは保護者や地域には十分伝わっていない結果となっている。家庭、学校、地域が丸となって生徒の成長を支えられるよう、引き続き保護者や地域に対する力強いメッセージの発信と情報・認識を共有する機会の拡充に努めていただきたい。

3 その他

学校経営計画書にはないが、学校評価から学校図書館の活用率が低いため、学校司書との連携を密にして改善を図って欲しい。また、授業改善やSSR、部活動など生徒が学校生活を有意義に感じ、健やかな成長を遂げられるよう、様々な教育活動を継続し定着・発展させることを期待する。